

## 御霊の実

具体的に、どのような特徴が、御霊の実なのか。

「御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。」(ガラテヤ 5:22,23)

これは、山上の説教の要約といえる。内側のキリストのいのちの結果現される実。

木の実は、木自身のためのもではなく、それを食べる者のためのものである。御霊の実は、クリスチャンが出会う人々への態度を示す。

御霊の実は一つ、愛の実であるといえる。

喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制の8つの実は、愛の現れである。

「愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません(平安、善意、誠実)。愛は自慢せず(誠実、柔和、自制)、高慢になりません(善意、誠実、柔和)。礼儀に反することをせず(誠実、柔和)、自分の利益を求めず(寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制)、怒らず(平安、寛容、柔和、自制)、人のした悪を思わず(平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制)、不正を喜ばずに真理を喜びます(喜び、誠実)。すべてをがまんし(寛容、親切、善意、柔和、自制)、すべてを信じ(誠実)、すべてを期待し(喜び、平安)、すべてを耐え忍びます(寛容、自制)。愛は決して絶えることはありません。」(I コリント 13:4-8)は、御霊の実を拡張したものである。

D.L.ムーディは、次のように述べている。

「喜びは、高められた愛。平安は、応答する愛。忍耐は、疲れを知らぬ愛。やさしさは、耐える愛。善意は、行動における愛。信仰は、戦いの場での愛。謙遜さは、戒規の下での愛。自制は、訓練下での愛。」

喜び <sup>カラ</sup> χαρά (喜び)

喜びは、「神のあわれみ」「祝福」「恩恵」に対する愛の反応である。全聖書に647回使われている(新改訳)。

「なぜなら、神の国は飲み食いのことではなく、義と平和と聖霊による喜びだからです。」(ローマ 14:17)

山上の説教:「わたしのために、ののしられたり、迫害されたり、また、ありもしないことで悪口雑言を言われたりするとき、あなたがたは幸いです。喜びなさい。喜びおどきなさい。天においてあなたがたの報いは大きいからだ。あなたがたより前に来た預言者たちも、そのように迫害されました。」(マタイ 5:11,12)

キリスト者の喜びは、環境に左右されない実である。最も試みの大きい環境においてさえも神に依存する。

「主を喜ぶことはあなたがたの力です。」(ネヘミヤ 8:10<口語訳>)

「あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。」(詩篇 16:11)

平安 <sup>エイレーネー</sup> εἰρήνη (平和)

平安は、喜びよりも深く、安定したものである。他の人々と平和を保つ。喧嘩、闘争、党派心からの自由。

山上の説教:「平和をつくる者は幸いです。その人は神の子どもと呼ばれるからです。」(マタイ 5:9)

「わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。」(ヨハネ 14:27)

「ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。」(ローマ 5:1)

「あなたがたが私から学び、受け、聞き、また見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神があなたがたとともにいてくださいます。」(ピリピ 4:9)

寛容 <sup>マクロスゅミア</sup> μακροθυμία (忍耐)

主がどれほど、自分に寛容であられたかを知る者は、他の人々にも忍耐をもつ気持ちができる。

山上の説教:「あなたの敵を愛しなさい。あなたを憎む者に善を行ないなさい。あなたをのろう者を祝福しなさい。あな

たを侮辱する者のために祈りなさい。あなたの片方の頬を打つ者には、ほかの頬をも向けなさい。上着を奪い取る者には、下着も拒んではいけません。すべて求める者には与えなさい。奪い取る者からは取り戻してはいけません。」(ルカ 6:27-30)

「主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。」(Ⅱペテロ 3:9)

「主よ。あなたは、あわれみ深く、情け深い神。怒るのにおそく、恵みとまことに富んでおられます。」(詩篇 86:15)  
「その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは、何一つ欠けたところのない、成長を遂げた、完全な者となります。」(ヤコブ 1:4)

クレストテース  
**親切** **χρηστότης** (慈愛、善、やさしさ)

人々の失敗を愛をもって扱うこと。

山上の説教:「あわれみ深い者は幸いです。その人はあわれみを受けるからです。」(マタイ 5:7)

「それとも、神の慈愛があなたを悔い改めに導くことも知らないで、その豊かな慈愛と忍耐と寛容とを軽んじているのですか。」(ローマ 2:4)

「神の慈愛と峻厳とを見よ。神の峻厳は倒れた者たちに向けられ、神の慈愛は、もしあなたがその慈愛にとどまっているなら、あなたに向けられる。そうでないと、あなたも切り取られる」(ローマ 11:22<口語訳>)

アガソースゅネー  
**善意** **ἀγαθωσύνη** (善意、よいこと)

もし、人が心に善意があれば、他人に善を行う。利己的な(パリサイ人的な、自己義認的な)善意は、一種の悪である。これは、他人に利益を加える愛ともいえる。消極的な善は不十分である(途中でやめるくらいなら、やらない方がましな場合もある)。

山上の説教:「このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」(マタイ 5:16)

「あなたは、施しをするとき、右の手のしていることを左の手に知られないようにしなさい。」(マタイ 6:3)

「光の結ぶ実は、あらゆる善意と正義と真実なのです。」(エペソ 5:9)

ピスティス  
**誠実** **πίστις** (信仰)

信仰が生み出す性格と振舞いの誠実さ。「信頼されること」と「信頼すること」

山上の説教:「義に飢え渴いている者は幸いです。その人は満ち足りるからです。」(マタイ 5:6)

信頼されること:「よくやった。良い忠実なしもべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、私はあなたにたくさんの物を任せよう。」(マタイ 25:21,23) 御霊の實を結ぶ者は、他の人々へのことばを守る。契約、約束、義務への忠実。責任逃れをしない。

信頼すること:「不正を喜ばずに真理を喜びます。すべてをがまんし、すべてを信じ、」(Ⅰコリント 13:6,7) 神への信仰のみならず、人々をも信じること。人々への猜疑の念を持たず、最善を信じる。

ブラウテース  
**柔和** **πραΰτης** (柔和)

柔和とは、怒りや人を傷つけるようなことをあらわさないことである。劣等感からくる小心、臆病、弱さとは異なる。真に強い者は、余裕があり、柔和である。これは、主によってあらわされる力の実である。

山上の説教:「柔和な者は幸いです。その人は地を相続するからです。」(マタイ 5:5)

「わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。」(マタイ 11:29)

## 自制 ἐγκράτεια(節制、自制、克己、寛大)

真の自己愛といえる。自分を重んじる者、自分の体を聖霊の宮であるとみなす者は、衝動を制御する。飲食のみならず、生活のあらゆる面にわたっての制御。他人への寛大は、完全な自制である。怒り、肉的情熱、食欲、世的な楽しみへの欲、利己主義への制御。

山上の説教:「狭い門からはいりなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこからは行って行く者が多いのです。」(マタイ 7:13)

「いま食べ飽きているあなたがたは、哀れな者です。やがて、飢えるようになるからです。いま笑っているあなたがたは、哀れな者です。やがて悲しみ泣くようになるからです。」(ルカ 6:25)

「怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は町を攻め取る者にまさる。」(箴言 16:32)

## 愛 ἀγάπη(愛)

山上の説教:「あなたたちの敵を愛くすることを習慣としなさい。またあなたたちを忌み嫌う者<憎しみをもってあなたたちを迫及する者>親切を尽くしなさいよくしてやり、りっぱに応待しなさい。あなたたちをのろっている者の祝福を祈り求め<幸福を祈り>、あなたたちをはずかしめている者<ののしり、とがめ、誹謗し、脅かしている者>に神の祝福<愛顧>を願い求めなさい。」(ルカ 6:27,28<詳訳>)

「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」(ヨハネ 13:34,35)

「愛する者たち。私たちは、互いに愛し合いましょう。愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。愛のない者に、神はわかりません。なぜなら神は愛だからです。」(Iヨハネ 4:7,8)

神は愛であるから、キリスト者の結ぶ実も愛である。

「それゆえ、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者として、あなたがたは深い同情心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。互いに忍び合い、だれかがほかの人に不満を抱くことがあっても、互いに赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたもそうしなさい。そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全なものです。」(コロサイ 3:12-14)

愛は、他の御霊の実を結んで一つにまとめ、御霊の一致を保つ接着剤。

木が、水を吸い上げ、光を浴びて光合成をして、fruit(実)を成らせるように、私たちも、生ける水をいただき、みことばの光に日々照らして自分のものとして(信仰を働かせて)歩む責任はある。そうすれば、豊かなfruit(実)が成るはずである。